

雲居寺の碑文 — CD-ROM のための準備作業

マティアス・アーノルド
(ハイデルベルク大学、ドイツ)

房山の雲居寺は五世紀以上にわたって、佛教經典を刻んだ 15,000 以上もの石碑を産み出してきた。特別な出来事を記念するために、幾つもの碑文が記されてきたのである。それらのうち、616 年から 1999 年にかけて書かれた 28 の碑文が分析され、翻字され、翻譯されている。

これらの資料へのより容易なアクセスを提供するために、テキストの CD-ROM 化が必要であるが、その概念とデザインの両面において、いくつかの問題が生じる。それらのうち最も重要なのは以下の三點である。

第一に、テキストはいくつかの異なった形で提示されねばならないということ。すなわち、利用者は活字に起こしたものと拓本原姿とを対照させたり、注釋を施した中國語文と英語譯とを對應させたりしながら読むことができるようにすべきである。碑文の一部を擴大して見たり、逆に全體像を表示させたりすることが必要な場合もあるだろう。別のウインドウに表示されたテキストも、必要とあれば、この動きや擴大縮小に聯動できなければならない。

第二に、テキストの解讀についてはこれまで多くの研究がなされてきている。いくつかの碑文は斷片的にのみ残っていたり、浸食によってダメージをうけていたりするため、異なる讀みや解釋が存在する。それゆえ CD-ROM はこれらのヴァリエーションを提示する手段を提供せねばならない。

第三に、碑文は、佛典を石に刻むという巨大プロジェクトに関する様々な情報をもたらしてくれる。たとえば、他のいかなる資料にも見られないような多くの人物がそこに言及されているのである。このため、CD-ROM は全文檢索を提供するのみならず、特殊なインデクスや關聯情報をも提供しなければならない。

本論文においては、ユーザー・インターフェースの紹介とともに、上述の三つの複合的問題點に對する解決策が論じられる。それはまた CD-ROM 開發の現段階を紹介し、この進行中のプロジェクトに關する初期の知見を提示することにもなる。

Matthias ARNOLD マティアス・アーノルド

1967 年生

ハイデルベルク大学ヨーロッパ中國電子資料センター
ChinaResource.org 研究員

“‘Treasures for King Zhao Mo. The Tomb of the Nan Yue Kingdom’. A case study on the implementation of multimedia-elements in art-historical projects” “Datenbanken: Typen, Funktionalität und Perspektive der Nutzbarmachung” “Modern China Databases, Premodern China Databases” ほか多數